



# ハーモニー通信No.8号

## あしたの風



発行：男女共同参画あきたF・F推進員・大潟村

TEL 0185(45)2114  
2011.3 発行

### 大潟村男女共同参画推進チーム始動中！

大潟村男女共同参画推進チーム 代表 三村敏子

平等な社会ってどんな社会？今の日本の社会は平等ですか？男性と女性は平等でしょうか？女性が働きやすい社会でしょうか？議員の数はどうでしょうか？企業の重役にどのくらいの女性がいますか。

さて、驚いたことにノルウェーでは、議員だけでなく、重役も割り当て制になっています。40%に女性（男性）が入っていないといけないという法律があるのです。国民の幸福度は高く、企業の業績もあがっています。

今回自主的に活動する男女共同参画推進チームが昨年9月にできました。村行政の組織ではありません。行政と連携しながら事業をすすめる任意団体です。各種団体のみなさんからご協力を頂き、チームの会員の募集をして頂いています。現在13人で活動しています。随時募集していますので、どうぞご参加ください。

今年度、実施した活動内容をお知らせします。

- \*村長へ要望書の提出・・・保育園の体制整備など。他2項目。
- \*若妻会への働きかけ・・・23年度教育委員会との懇談会を開きませんか。とお誘いしました。
- \*土壇場の料理教室・・・みんなでご飯を炊いたり、餃子をつくったりしました。
- \*県事業の「男女いきいき職場宣言」を村内事業所に紹介・・・

農友とルーラルが宣言してくださいました。

\*男女共同参画クイズの配布・・・老人クラブ・壮悠会・青年部・若妻会・婦人会へ（お詫び）老人クラブと壮悠会のみなさんに配布したクイズの答えに間違いがありました。3の大潟村の審議会にしめる女性の割合は「イ」の約20%でした。申し訳ありませんでした。



# 第1回 男の土壇場の料理教室を開催!



大潟村男女共同参画推進チーム員 小熊健一

2月10日(木)に推進チームで土壇場の料理教室を行いました。

今回の企画を考えるに当たり、普段「男女共同参画」などということを考えてもいなかった私にとって、最初は何をしたらよいか全く分かりませんでした。

チーム員の中で話し合っていると、我が家は6人家族でありながら女性は妻1人だけということについて改めて気づかされました。

私は家では料理をすることはありません。何か出来るか?といえば多分何も出来ません。その代わりと言ってはなんですが好き嫌いもなく、文句も言わずに何でも食べます。

しかし、たまには、妻に「何も後のことを考えなくてもいいからいってらっしゃい」と言ってあげられたらとか、今は親も元気ですが、もし家族で誰かが病気になったら・・・などということと考えたら最低限の料理くらいは出来なきゃダメだな、と思ったのが「土壇場の料理教室」を思いついたきっかけでした。

料理教室当日は、委員と参加者で合計15名でした。ごちんまりした会でしたが、食材の準備とかを考えると、ちょうどいい規模だったのではないかと思います。

メニューはご飯と味噌汁、そして小松菜の煮びたし、餃子でした。

俗にいう「男の料理教室」といえば豪快でボリュームのある料理を想像しがちですが、今回は目指しているものが違います。

基本中の基本が出来ることが目的です。「ご飯と、味噌汁」これが出来れば、合格。あとは“あぐり”から出来合いのおかずを買ってくればよいのですから・・・。

餃子作りは意外に簡単で、みんなで個性のある形の餃子を楽しみながら作れたのではなかったかと思います。

参加された方々には、簡単すぎて拍子抜けした方もいたかもしれないですが、もしもの時に、やったことがあるのと、初めてでは大きな違いがあると思います。

・・・ですが、本当は料理の前に鍋や調味料を揃えることが出来るか、です。

みなさん、今一度、味噌がどこに置いてあるか、鍋がどれで、どこあるのかを確認しておいて下さいね。

これが出来れば完璧!?



## ～頑張らない介護～

### 西1-4 山本嘉子

私が親の介護をするようになって9年になります。  
2台の車いすを押していたのが懐かしく思い出されます。  
残念ながら、父は他界して、今は母だけになりました。  
いろんな方から「頑張るね」とか「大変でしょう」とか  
言われますが、私自身はあまり負担を感じる事なくやってこれたように思います。



その理由を私なりに考えてみたら、3つ挙げられます。

第一に、デイサービスやショートステイなどを利用できる事。ありがたい事に介護のアドバイスも受けられ、頼りになります。

第二に、やっぱり家族の応援です。

母の世話はほとんど私ですが、介護される母、介護する私の事を家族が理解して支えてくれることで、気持ちが楽になります。愚痴をこぼしたり、ため息については、軽くあしらわれていますが、私にとってはとても助かっている事です。

第三に、介護を少しだけ勉強させてもらったおかげで、いろんな人との出会いがあり、仲間ができたことです。

私は元来怠け者でいかげんな性格ですので、頑張ることなく適当に過ごしてきましたが、みんなに助けられたからこそ無理せずやってこれたと今更ですが感じています。

介護は一人で背負ってしまうとつらく寂しいものです。

昔は介護は女性の仕事と言われてきましたが、少子高齢化の現代はそんなことは言われません。

そして介護は長期間に及ぶことも多いです。

「老」は誰にでもやってくる「行く道」です。家族や地域の理解や協力がこれからますます重要になってくると思います。

そして介護は一人一人、またその家族によって抱えるものが違いますから、いろんな形があるはずです。

私の母の介護はまだ当分続きそうですが、みんなに助けられながら、頑張らずに、できれば一緒に楽しみながらやっていきたいと思っています。

(お知らせ)

山本さんが代表を務めているボランティア団体“ふれあいネットぬくもり”では、社協と共催で12月上旬に介護講座を開く予定です。多くの方に参加してほしいです。男性の方、また夫婦での参加も大歓迎です。

## ♪ 新着図書情報 ♪

公民館の図書コーナーに男女共同参画に関する新着図書がはいりました！

わかりやすく勉強になる本ばかりです。ぜひご覧になってください。

新着図書の題名

- ・「髭のノラ」 三井マリ子 著
- ・「自分の気持ちをきちんと伝える技術」 平木典子 著
- ・「パピール」 安藤哲也・小崎恭弘 著



## 男女共同参画講座



# 「ジェンダーってなんだろう？」

3月6日(日)午後1時半から、公民館において、秋田大学特任准教授の川畑智子先生を講師にお招きして、ジェンダーに関する講座を実施しました。

川畑先生はジェンダーの社会学を専門としておられ、女性研究者の支援充実のために秋田大学に赴任し、「秋田大学男女共同参画推進室コロコニ」のコーディネーターなどを兼任されています。講演ではジェンダーに関する基本的な知識や学生へのアンケート調査から見てきた分析結果などをわかりやすく紹介していただきました。

講演内容の一部を紹介します。

- 大半の日本人は“ジェンダー”という言葉は聞いたことがあっても意味を知らない。
- ジェンダーの語源は、“ジャンル”のフランス語であり、“分類”のような用語。
- セックスとは生物学的性別。(男、女)
- ジェンダーとは社会的・文化的性別(男らしさ、女らしさ)
- ジェンダーは絶対的なものではなく、その文化や歴史によって、移り変わっていき、多様化する。
- 性別とは、「私」を証明する属性の一つにすぎず、「私」を構成するものは無数にある。(年齢、居住地、特技など)
- しかしながら、“その人らしさ”を性別によって評価されがちである。(例えば、泣くななんて男らしくない、女なのに片付けが出来ない、など)
- ジェンダー自体は取り除くべきものではないが、普段何気なく人を性別によって判断し、それによって自分の態度や見方を決めつけ、自分やまわりを窮屈にしていることを自覚し、性別による縛りを意識的に取り除くことは必要。

会場では17人の参加者が講師の話しに熱心に耳を傾け、講演後は活発な質疑応答が行われました。

ご夫婦での参加もあり、互いにどのように思いやりを示し合えるか話している様子が印象的でした。



～編集後記～

ハーモニー通信8号をお届けします。今回は平成22年度後半に実施した事業の紹介です。「男女共同参画」は身近なところから考え活動していく、生活と結びついたものであることがわかっていただけたのではないのでしょうか。記事をお寄せくださいました皆様ありがとうございました。春作業が始まります。体に気をつけて向かいましょう。  
(あきたF・F推進員 石原敏子)

☆各記事についてのお問い合わせはこちらへ☆

大湯村役場住民生活課 TEL 0185-45-2114 (内線245) FAX 0185-45-2162